

ひざ痛・腰痛はありますか?

～活発な生活で予防・解消～

雪がとけて暖かくなっています。なので、ウォーキングをしたり、煙を始めたりと外で活動することができ増えています。元気に活動的に生活するためにも、ひざ・腰の痛みを予防・解消して元気に生活しあしょ。

❖ひざ・腰の病気は40歳頃から増えています

ひざ・腰に痛みを感じる疾患にはさまざまなものがありますが、中高齢期に起こるひざや腰の痛みの多くは骨や筋肉の老化によって起こる疾患が原因になっています。骨や関節、筋肉は20歳頃を開きます。開いた足の第2趾の向きに膝を曲げます。曲げた膝頭がつま先よりも前に出ないようにします。

❖若い人も骨・関節が衰えている!?

最近の生活の欧米化やゲーム人

筋肉の成長を妨げます。骨や関節、筋肉の成長期にしっかりと基礎を作つておかないと将来のひざ・腰痛、さらには将来の介護状態を招く危険を高めます。骨・関節は子どもから高齢の方まで、あらゆる年代が気をつけていることが大切です。

❖「痛いから動かない・動けない」は寝たきりにつながっています

「痛みがあるから」と外出や運動を控えて安静な生活を続けていると体や脳の機能が低下してしまいます。やる気が出なかつたり外出があつこうになってしまいます。痛みが強い時は安静が必要ですが、それを過ぎたら自分の体の状態に合わせて無理のない範囲で動かし、できるだけ活発な生活を送るようになります。

●開眼片脚立ち

左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。
踏ん張って片脚でバランスをとることを意識しましょう。

支えが必要な人は、医師と相談して机や手に指をついて行います。



今月の担当
北檜山区
佐瀬由希子です